

科目名	近世文学講読Ⅱ	
担当者	清水 勝 / SHIMIZU, Masaru	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	松尾芭蕉の五大紀行文のうち、「おくのほそ道」以外の作品にも触れることで、芭蕉作品と古典がさらに面白くなります。
	到達目標	1、俳諧は文芸作品であることを理解する。2、「野ざらし紀行」を中心に四編を読み、その文芸性を実感する。3、その構成にも気づくようになる。4、作品中の和歌・漢詩・発句等との関わりから、広く国文学と国語に関心をもつようになる。
授業計画	(1) 芭蕉の俳諧文芸の進化。「野ざらし紀行」と他四紀行文との関わり (2) 芭蕉、「野ざらし紀行」の旅に出る一実際の旅と文芸上の旅との差異 (3) 冒頭文～深川の句 (p. 11、1, 1～p. 12、1, 1) (4) 富士川・大井川 (p. 12、1, 2～p. 12、1, 11) (5) 馬上吟～小夜の中山～伊勢外宮・西行谷 (p. 13、1, 1～p. 14、1, 10) (6) 故郷伊賀～当麻寺 (p. 14、1, 11～p. 16、1, 2) (7) 吉野、西行庵・後醍醐帝廟 (p. 16、1, 3～p. 17、1, 9) (8) 大和～美濃・山中・不破 (p. 17、1, 10～p. 18、1, 8) (9) 桑名・熱田・名護屋 (p. 18、1, 9～p. 20、1, 9) (10) 故郷伊賀・二月堂・伏見・辛崎・水口 (p. 20、1, 10～p. 22、1, 5) (11) 尾張～江戸深川 (p. 22、1, 6～p. 23、1, 10) (12) 鹿島詣 (p. 55、1, 1～p. 61、1, 6) (13) 笈の小文 (p. 69、1, 1～p. 90、1, 7) (14) 更科紀行 (p. 109、1, 1～p. 113、1, 11) (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・復習をしっかりとすること。
使用教材・参考文献	【教】岩波文庫「芭蕉紀行文集」中村俊定 校注。岩波書店昭和45年発行以下、参考書は大学図書館にあり。 【参】小学館古典全集本「松尾芭蕉全集」・岩波古典大系本「松尾芭蕉全集」	
成績評価方法と基準	<方法>出席10回以上とし(30)、各回レポート形式の小テストを行い(20)、試験も行う(50)。 <基準>平均して、60点以上を合格とする。	
備考		